

令和6年度
中小企業によるグリーン・イノベーション構築促進事業

Green Innovation NAGOYA

—
グリーン・イノベーション ナゴヤ 活動報告書

主催 名古屋市



2024

Green Innovation NAGOYA

—
グリーン・イノベーション ナゴヤ

グリーン・イノベーション ナゴヤは

ものづくり産業が集結する名古屋圏において、

サプライチェーンを担う中小企業が

新たなビジネスチャンスの獲得に向けて脱炭素経営に取り組み、

企業価値の向上を目指すプロジェクトです。

目次

グリーン・イノベーション ナゴヤとは	2
実施事業及び趣旨	3
成果発表会 概要	4
専門家派遣 概要	6
支援企業紹介 - SBT認定取得支援	7
支援企業紹介 - 新商品・サービス開発支援	8

グリーン・イノベーション ナゴヤとは

パリ協定を契機として、世界各国でカーボンニュートラルを目指す動きが加速しており、企業においてもサプライチェーン全体で脱炭素経営を行うことが求められています。

名古屋圏には、自動車産業をはじめとする世界有数のものづくり産業が集積しています。そこで名古屋市では、サプライチェーンを担う中小企業が脱炭素経営に取り組み、企業価値の向上を目指す支援を行っています。

事業概要

セミナーによる情報提供

環境対応が企業活動に求められている背景や国際的な動向、SBT認定などをテーマとしたセミナー、また、カーボンニュートラルに向けた新商品やサービス開発に係るセミナーを開催し、機運醸成を図ります。

SBT認定取得支援

国際的な脱炭素経営への枠組みに対応し、国内外の需要獲得を目指す企業に対し、専門家を派遣し、温室効果ガス排出量の算定から認定申請までをトータルで支援します。

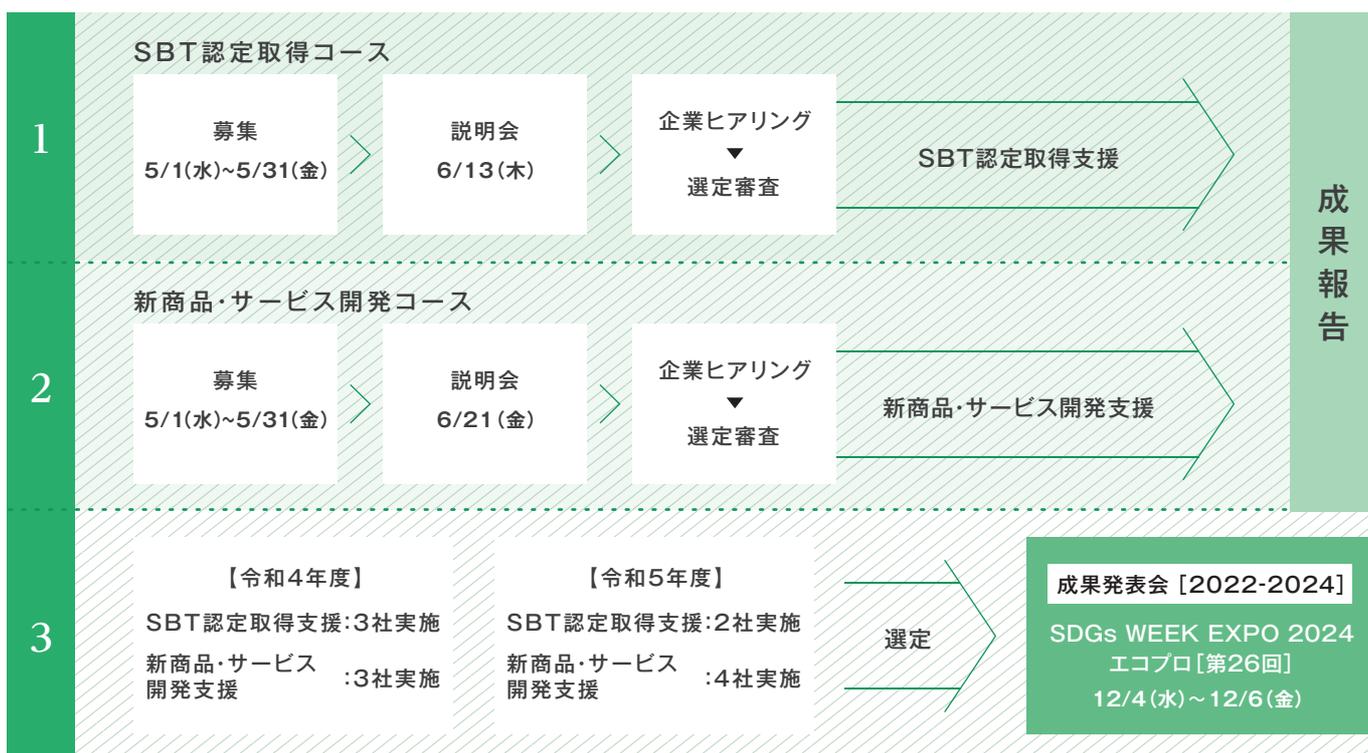
新商品・サービス開発支援

低炭素、カーボンニュートラル、脱炭素の経営理念に基づく新商品等の開発からプロモーションまでをデザイナー等の専門家を派遣してサポートするほか、各種相談に対応します。

中小企業の取組情報等の発信

環境意識の高い国内外の企業へ向けて、支援先企業の取組や新商品等を紹介し、ビジネスマッチングにつなげるほか、セミナーや国・県・市の施策情報を提供し、市内中小企業への横展開を図ります。

事業スケジュール(令和6年度実施)



実施事業及び趣旨

1. 温室効果ガス排出削減モデル事業者の選定・指導

排出削減モデル事業者に対し、サプライチェーン全体の削減目標設定への個別のコンサルテーションを実施し、SBT認定取得申請を支援しました。

SBT認定取得支援 排出削減モデル事業者を1社選定し、コンサルテーションを実施。

2. カーボンニュートラルに向けた新商品・サービス開発支援

デザインの専門家等を派遣し、支援先企業に合わせ伴走型支援を行いました。

新商品・サービス開発支援 グリーン分野でのイノベーションによる新商品開発等に意欲のある企業5社に専門家を派遣し、伴走型支援を実施。

3. カーボンニュートラルに向けた普及啓発と

中小企業の取組の情報発信及びビジネスマッチング促進事業

新たなビジネスマッチングを促進するため、東京での展示会に出展し、令和4年度～6年度に本事業で支援した企業の中から選定し、取組内容等を紹介。成果事例を広く波及させるとともに、環境問題に関心のある企業等への発信を行いました。

成果発表会の開催

- SDGs WEEK EXPO 2024 エコプロ[第26回]
 - 会期 | 2024年12月4日(水)～6日(金) 10:00～17:00
 - 会場 | 東京ビッグサイト(東4・5・6ホール) 小間番号5-004
 - 発表企業数 | SBT認定取得支援企業4社／新商品・サービス開発支援企業5社
 - 来場者数 | SDGs WEEK EXPO 2024 3日間合計63,303人
グリーン・イノベーション ナゴヤ ブース来場者数 3日間合計2,158人

成果発表会 [2022-2024]

グリーン・イノベーション ナゴヤでは、中小企業による環境対応を促進するためSBTの認定取得や環境に配慮した新商品等の開発の支援を令和4年度より実施。地域の中小企業の機運を高めるため、これまでに本事業で支援した企業及び取組内容等を紹介する成果発表会を開催しました。成果事例を広く波及させるため、また、新たなビジネスマッチングを促進するため、東京で開催された「SDGs WEEK EXPO 2024 エコプロ[第26回]」でのブース出展を行うことで、環境問題やサステナブル素材、プロダクトに関心のある企業や来場者等への発信を行いました。

SDGs WEEK EXPO 2024 エコプロ[第26回]

会期 | 2024年12月4日(水)~6日(金) 10:00~17:00

会場 | 東京ビッグサイト(東4・5・6ホール) 小間番号5-004
(東京都江東区有明3-10-1 国際展示場 東新展示棟)

入場料 | 無料(登録制)

主催 | 一般社団法人サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社

出展規模 | 470社・団体 / 939小間
グリーン・イノベーション ナゴヤ ブース出展小間数 4小間

来場者数 | SDGs WEEK EXPO 2024 3日間合計63,303人
グリーン・イノベーション ナゴヤ ブース来場者数 3日間合計2,158人



ブース出展内容

事業の核となる「SBT認定取得支援」と「新商品・サービス開発支援」を2つに分けて展示ブースを構成。

SBT認定取得支援企業の4社は、CO₂削減目標や排出量をパネルで紹介するとともに、自社の主力商品やPR商品を展示しました。また、新商品・サービス開発支援企業の5社は、開発商品の実物展示やプロモーション動画・パンフレットなどを展示し、成果事例を紹介しました。

■ SBT認定取得支援 出展企業

企業名	業種 取扱商品
株式会社石垣商店	製造業(非鉄金属) 銅・真ちゅう加工
株式会社和泉	製造業(化学) 気泡緩衝材製造販売
株式会社ノダキ	卸売業 機械工具、金型・治具、測定工具、工場副資材
株式会社マサル	製造業(樹脂製品) 水圧転写・曲面印刷



■ 新商品・サービス開発支援 出展企業

企業名	業種 取扱商品	開発テーマ
有限会社柏彌紙店	卸売業 襖紙・障子紙、和紙、内装材料全般など	和紙の端材に新たな用途を SDGsにつなげる和紙着火剤の開発
トキワランバテック株式会社	卸売業 木材・木工製品の受託製造	アップサイクルウッドを利用したキャンプ用品の開発 -ツジリアップサイクルフリーボード
株式会社ファースト	製造業(その他製品) サイン・ディスプレイ用品、デジタルサイネージ	石油由来から自然由来の部材へ 自社のパーツストックで支える低炭素商品の開発
株式会社マルワ	製造業(出版・印刷) 商業印刷	バナナペーパーの特徴を生かした SDGs商品の開発
有限会社みずのかぐ	小売業 オリジナルオーダー家具の企画・製造・販売	低炭素社会の実現をテーマに製造した 木製キャンピングトレーラーのPRツール開発



専門家派遣 概要

SBT 専門家派遣

名古屋市内の中小企業者を対象に、温室効果ガス排出削減モデル事業者のSBT認定取得支援を行いました。支援企業に当地域唯一の専門カーボン・オフセットプロバイダー株式会社ウェイトボックスより専門家を派遣し、温室効果ガス排出量の算定から認定申請までをトータルで支援しました。

支援内容 | CO₂排出量の算定及び目標設定の指導
SBT認定取得のための申請手続きの支援

支援期間 | 令和6年8月上旬～令和7年2月下旬

支援企業数 | 1社

企業名	業種 主要取扱品目	派遣専門家
熱田起業株式会社	製造業(輸送用機器) 航空宇宙機器製品 他	株式会社ウェイトボックス パートナー支援事業部 大槻 真裕 / Leena Bhawe

デザイン専門家派遣

名古屋市内の中小企業者を対象に、グリーン分野でのイノベーションを促進するため、デザイン等の専門家を派遣して指導を行いました。

支援内容 | 新商品・サービス開発(既存商品の改良を含む)からプロモーションまでの
デザイン指導やエコデザイン等を活用した商品開発指導
専門家による各種個別相談対応

支援期間 | 令和6年7月中旬～令和7年2月下旬

支援企業数 | 5社

企業名	業種 主要取扱品目	派遣専門家
有限会社荒木製作所	製造業(機械) 自動車・建設機械・ 半割形状すべり軸受部品・切削加工	鈴木友章 / ディレクター
株式会社菱源量店	建設業 (内装仕上工事) 量の製造・販売、及び修理等	中尾協平 / チーフデザイナー
株式会社丸八化成	製造業 (輸送用機器) プラスチック製の自動車内装部品・ 工業部品 等	吉田修作 / インダストリアルデザイナー
森松株式会社	卸売業 (石油・石炭製品) 軟質PVCシート、PPシート	白川勝悟 / プロダクトデザイナー
株式会社レジスタ	サービス業 事業開発、イベント企画、 WEB制作、DTP制作、システム開発	奥山泰助 / クリエイティブディレクター

熱田起業株式会社 [製造業(輸送用機器)]

所在地 | 〒454-0836 名古屋市中川区福船町四丁目1-1 WEB | <http://atsuta-kigyoo.co.jp>
TEL | 052-355-8038 FAX | 052-355-8007



「最新×伝統」を掲げ、
宇宙から深海までの事業を一貫生産で
手掛ける機械加工メーカー

当社は、70年にわたり高度な技術を要する航空宇宙産業に携わり、難削材への加工を得意とする、多品種少量生産においても短納期対応を実現する生産技術力に長けた企業です。

今日ではその強みを活かし、デジタル技術とこれまでの加工技術を組み合わせた金属3Dプリンターを活用した試作開発を行うなど、新たな技術の研鑽を重ねています。また、加工技術のみならず、検査技術からIT技術に至る多数の技術者の養成に力を入れ、事業の発展に取り組んでいます。



取組内容

航空宇宙産業で挑む カーボンニュートラルへの道

当社が携わる航空宇宙産業の業界では、カーボンニュートラルという言葉はまだ、全くと言ってよいほど聞こえてこない状況にありますが、激動する社会環境の中、変化に乗り遅れないよう事前に備えたいと思い、当事業に参加しました。

今回の取り組みは、社内のコンセンサスを取りつつも、社員にあまり負担がかからないよう、経営陣を中心に取り組みました。SBT認定を取得するまでの道のりは毎年変化をしているようですが、決算期に合わせ必要とされるデータの提供に始まり、SBT申請フォーマットの記入まで、専門家のアドバイスのお陰で、スムーズに行うことができました。

今後は、設定した削減目標に向けて、カーボンニュートラルへの取り組みを一步一步進めていきたいと考えています。

本事業を終えて

技術力向上と環境配慮で 社会に貢献していきたい

当事業に参加しSBT認定を取得したことで、当社にとっては温室効果ガスの削減というこれまでの技術課題とは違う方向性の大きな課題に向かっていくことになるわけですが、脱炭素・低炭素化を目指すことはグローバルマーケットに対して、当社の技術力向上にもつながるものと考えています。今後、社内にも発信を強化し、社員の意識付けへの働きかけをするとともに、技術力の向上につなげ、さらなる受注の獲得につなげていくことが目標です。

また、当社では航空宇宙産業を中心に、クライアントがワンストップで注文できるよう、一貫生産に向けた取り組みを加速させています。環境配慮に向けた取り組みにもいち早く対応し、環境配慮を伴うサプライチェーンをつなぐ役割を担い、社会に貢献していきたいと考えています。

有限会社荒木製作所 [製造業(機械)]

所在地 | 〒462-0018 名古屋市北区玄馬町225番地 WEB | <http://www.arakiseisakusyo.com>
TEL | 052-901-7746 FAX | 052-901-8281



銅合金のエキスパート

当社は、銅合金の加工の専門家として、建設機械メーカー・油圧部品メーカーなどの業界に向けた高品質な銅合金切削部品に対し、旋盤やフライス盤を用いて精密加工を行う企業です。

長年、銅合金に向き合ってきたからこそその技術力、そして一貫生産体制と従業員の多能工化により培った問題解決力で、お客様の幅広いニーズにワンストップでお応えするとともに、エネルギー伝達に優れた銅合金を通じて低炭素エネルギーインフラに貢献したいと考えています。この技術力をベースに、これからもクライアントから信頼いただける、魅力ある職人集団を目指して、日々難切削加工に邁進していきます。



取組内容

低炭素社会に向けた ナノバブル発生器の販促ツール開発

当社は、これまでにクライアントワークによる技術の高度化によりノウハウを蓄えてきたメーカーですが、景気の波が激しい昨今において、経営安定化のため新事業創出が課題となり、さまざまな取り組みを行っています。その一環として、特許技術を所有する荒川工業(株)とともにナノバブル発生器の開発に取り組んでおり、商品化を実現しましたが、販売促進の計画において課題を感じ、当事業に参加しました。

当初、技術力や性能を見せることを中心に考えていましたが、デザイナーと話し合う中で、ユーザーに届く言葉や表現について思いを巡らすようになりました。また、デザイナーからのアドバイスでサンプル品によるトライアル企画を実施し、使用者の声を集めるなど、新しい取り組みにも挑戦しています。

現段階はパンフレットの作成を終えたところですが、今後はWEBサイトやSNSなどITツールにも力を入れ、販売促進に尽力していきたいと考えています。

本事業を終えて

"訴求したい内容は何か"を 現場から組み立てていく必要性を強く感じた

ナノバブル技術はさまざまな分野で研究開発が行われており、その技術の使用が省エネ、低炭素社会につながるものと考え、当社も取り組んでいます。実際に試した方々から「研磨の不良が減った。」「メンテナンスの清掃が減った。」などの声をいただいており、とても嬉しく思います。

また、当社にとっては、初めてデザイナーの方と一緒に販売促進ツールの開発に取り組みましたが、色形のことだけを考えるのではなく、"訴求したい内容は何か"を現場から組み立てていく必要性を強く感じました。

当事業で行った内容は販売促進ツールの一つですがありませんが、今後も他のツールの開発を行い、低炭素につながる商品の販売拡大を目指すとともに、生産現場で働く方々が仕事をしやすくなるような商品開発に取り組んでいきたいと考えています。

株式会社菱源畳店 [建設業(内装仕上工事)]

所在地 | 〒466-0855 名古屋市昭和区川名本町1-10 WEB | <https://www.hishigen.jp>
TEL | 052-751-0373 FAX | 052-761-2399



創業100年の信頼と実績

大正8年創業の畳の製造・販売を行うメーカーとして、個人住宅から公共住宅、神社仏閣、料亭やホテルなどの施設など、さまざまな規模の施工を行っています。

当社では、畳表のイ草への強いこだわりから、毎年、熊本県八代のイ草農家へ農作業を手伝いに行き、実際に出来栄を確認しながら質の良いものを仕入れています。

現在、イ草の資材の高騰や生産農家の高齢化に伴う生産量の減少により、天然素材から和紙や樹脂へといった工業製品に置き換えられている環境にありますが、今後も顧客のオーダーにきめ細かく対応する「畳スタイリスト」として、天然のイ草にこだわりながら空間に最適な理想の畳を仕上げていきます。



取組内容

畳の端材を利用した アップサイクル商品の開発

現在、新築住宅において、畳を必要とする和室はオプション設定となる場合が多いです。国産イ草にこだわり、畳を製造してきた当社としては、畳が生活空間から遠ざかっていくことに危機感を感じており、若い方にも使っていただけるような新しい価値観による畳のあり方を探求すべく本事業に参加しました。

本事業では、まず、専門家が実際に廃棄する畳を確認しました。当社の畳は敷き替え後もイ草の香りがしっかりしていること、表面の傷んだ部分を取り替えればまだ十分に使用できることなど、自分たちでは気づいていなかった特徴をアドバイスいただきました。それを踏まえ、再利用する畳の特徴をどのように活かすかを検討し、生活空間を楽しめるようなモダンな家具の製作に挑戦しました。畳の製造方法とは違った製作に難しさも感じましたが、なんとか試作品を作れたので、今後は、展示会などへ出展し、取引先の開拓につなげていきたいと思っています。

本事業を終えて

畳のアップサイクルで目指す低炭素社会

原料のイ草が高騰し、畳自体も天然素材から紙や樹脂といった工業製品素材に取って代わろうとしている今、畳のことをよく知る私達が、畳文化というものをもう一度考え直す必要性を強く感じました。

本事業では、環境配慮の観点から畳のアップサイクルによる商品開発に取り組み、希少な天然資源であるイ草を無駄にしない方法について検討しましたが、畳文化を守るためには、現代生活に合わせた新しい畳のあり方を生み出していくことも必要であると実感しました。

今後も家具やステーションナリー、食といった異分野とのコラボレーションを積極的に行い、若い世代への普及啓発を図っていきたくと考えています。そして、畳の文化的価値について発信できるノウハウを蓄え、地域に根ざした事業展開に固執するのではなく、世界トレンドを見据えた事業展開をしていきたいと考えています。

株式会社丸八化成 [製造業(輸送用機器)]

所在地 | 〒463-0081 名古屋市守山区川宮町673 WEB | <https://maruhachi-kasei.co.jp>
TEL | 052-793-6827 FAX | 052-792-5027



射出成形加工の高い技術力と安定供給を実現する樹脂製品メーカー

当社は創業以来、約50年にわたり樹脂・プラスチック製品の製造を手掛けてきました。そのノウハウにより、高品質な製品の製造、幅広いオーダーへの対応、スピーディーな生産を実現しています。

近年では、新設備の積極導入により、軽さと強さ、弾力性、高意匠性のある樹脂部品の製造を行うほか、自動車の樹脂部品製造で培った技術力と品質力で、自社商品・中小企業や個人向けのオリジナル商品の開発も行っています。

また、2022年にOUROBOROS(ウロボロス)という自社ブランドを立ち上げ、商品の企画から製造・販売を行っています。



取組内容

防災でも使えるリサイクル樹脂素材を使用したグローブホルダーの開発

当社はこれまで自動車や建材関係の樹脂成形による事業を営んできましたが、産業構造や社会的価値の変革期にあたる今日において、当社自体も変革していく必要があると感じています。

現在、自社商品の開発に注力しており、「環境」という新しい切り口を見出たく、当事業に参加しました。

当事業では、当社独自開発のクリップをベースにして「再生ポリカーボネート素材」を検討するとともに、ハードな現場で使用することを想定し、素早く着脱するシミュレーションによるクリップ形状の検討など、環境性と操作性を合わせた新しい考え方を取り入れました。

単純な再生材への転換に留まらず、消費者の潜在ニーズの発掘から設計を行えたことで新規性を見出せたと感じています。今後も製品安定性向上のため、開発を継続していきます。

本事業を終えて

環境配慮と消費者目線で築く低炭素社会

これまでの当社が関わってきた業界は景気の波が激しく、人口減少も著しい国内においては、ますます環境変化に応じた経営が求められると感じています。そうした中で、自社商品を開発し販売することは、持続的な経営には欠かせないものと考えており、これまで気にすることがなかった消費者目線のモノづくりの重要性を強く感じています。

今回の取り組みで、製品の耐久性や高機能化を高めるだけではなく、必要なシーンや機能を改めて絞り込んだプロトタイプの制作ができたことは大きな収穫となりました。

今後は、当事業で開発したクリップの改良を重ね、環境配慮素材に対する技術で高付加価値化を実現したいと考えています。

森松株式会社 [卸売業(石油・石炭製品)]

所在地 | 〒457-0801 名古屋市南区丹後通5-18 WEB | <https://www.morimatsu.com>
TEL | 052-612-8831 FAX | 052-614-5678



「プラスチックで つくる・提案する・ 解決する」プラスチックシート製品の 製造・販売メーカー

当社は、プラスチック(ビニール)シートの素材(PVC)のプロデュースから製品化のための加工までを一貫して手掛けるメーカーです。

プレス機、スリッター機、NCカッターといった各種設備を整え、顧客の要望に迅速かつ細やかに対応するとともに、長年に渡るノウハウを活かし、「こういうものが作りたい!」という顧客の声に合わせ、材料の選定から加工までトータルでサポートしています。環境に対する価値観が激しく変化する現在、当社の得意とする分野に目を向けるだけでなく、製品使用後のリサイクルについても研究開発を重ね、資源の無駄を減らし、新たに取り扱う素材や用途を開拓・提供し、社会に貢献できるような会社を目指します。



取組内容

塩化ビニールシート端材を 再利用した新素材の開発

当社が主に使用するPVC素材は、これまではデスクマットなどの文具やコロナ禍における飛沫防止用のセパレーターとして使用されてきました。しかし、需要の増減が激しく、環境意識が高まる現在では需要が減少傾向にあります。それに伴い、当社の顧客もBtoBからBtoCへと変化をしていく過渡期を迎えています。こうした状況に対応していくため、小さな変化を打ち出したく当事業に参加しました。

事業の中では、近年取り扱いが増えてきている使用済みPVC製品を再活用する方向性で専門家と話し合い、素材の魅力をアピールできる再生方法を検討し、試作を繰り返しました。

この試作開発により、展示会に向けた、付加価値のある再生素材のアピールに手応えを感じています。

使用済みPVC製品の供給にばらつきがあることや品質の安定化など、解決する課題はありますが、今後も商品改良を進め、新たな用途に向けたPRを展開していきます。

本事業を終えて

サーキュラーエコノミーで創る持続可能な未来

昨今の脱プラスチックの流れの中で、PVC素材は悪い印象を持たれがちですが、生活には欠かせない素材でもあります。

当社では近年の需給バランスから、対象をBtoBからBtoCへとシフトさせるための取り組みを展開しています。その中でも、消費者意識を考慮し、これまでの使い捨てを前提としたモノづくりから、バージン素材に依存しないサーキュラーエコノミーのモノづくりに向けた新しい取り組みを行っています。

本事業では、その一環として、これまであまり取り組む機会がなかった「使用済み端材」を新しい高付加価値素材へと再生する開発に挑戦しました。製品としてはまだまだ改良の余地はありますが、今後もこの取り組みを継続し、再生素材の魅力をアピールし、新しい需要を開拓するとともに、社会に貢献できる企業として歩んでいきたいと考えています。

株式会社レジスタ [サービス業]

所在地 | 〒460-0016 名古屋市中区橋1丁目24-2 WEB | <https://rgst.net>
TEL | 052-339-0233 FAX | なし



ムリという先入観をどうせなら おもしろく演出してみよう

当社は、中小企業や寺院、地域団体を対象に伴走型の共創事業支援サービスを提供する企業です。また、自社をローカル・ゼブラ企業と位置付け、事業を通じた地域課題の解決を目指し、さまざまなクリエイティブ活動を展開しています。なかでも、愛知県内の企業や団体との共創によるイベントやWeb、DTPといったクリエイティブな施策で、まちづくりや文化など地域貢献につながる発信に力を入れています。これからも地域の社会課題解決の牽引役として、`共創、を軸に、新たな価値創造や技術の活用を促進し、社会的価値を創造していきます。



取組内容

お寺の残ロウソクを アップサイクルしたクレヨンの開発

現在、当社が力を入れている分野がまちづくりです。なかでも`寺町文化、の再生には特に力を入れており、名古屋都心部にあるお寺の文化発信と地域の方々が集える環境を目指し、さまざまな取り組みを行ってきました。その中で、お寺で残ってしまう多くのロウソクを貴重な素材として活用し、文化発信に活用できないものかと考え、当事業に応募しました。

当事業では、お寺の催事に集う方々に聞き込みを行ったり、一緒に手を動かしながら考え、企画を練り上げていきました。社会性が高い意識を持つお寺が地域と一体となって低炭素化社会に貢献するプログラムとなるよう、ストーリー性と製造性を配慮し、ワークショップとして展開できるような試作方法の検討や製品化を目指し、事業を進めました。まだ製品としての安定性に問題がありますが、今後も改良を重ね、ワークショップの開催やお寺グッズとしての販売などにつなげていきたいと考えています。

本事業を終えて

お寺と地域をつなぐ低炭素型セーフティネット

当社が「お寺」に注目する理由は、お寺が宗教施設というだけではなく、災害時には避難所になるという機能にあります。さまざまな災害が起こっている今日において、お寺がその機能をしっかり果たすためには、日頃から地域の方々とのつながりを持った場所として存在していることが重要であると考えています。

お寺から出る残ロウソクをクレヨンなどにアップサイクルし、地域の方々をつなぐイベントを開催し、そこで使用してもらおう。小さくとも新しいサーキュラーエコノミーの輪が展開されていくことで、お寺と地域の輪が広がり、緊急時にも協力し合える関係性を見出し、今後も寺町文化によるセーフティネットの創造とともに、当社の発展ならびに低炭素社会への寄与につなげていきたいと考えています。

グリーン・イノベーション ナゴヤでは
中小企業等の情報や事業に関する情報発信を行っています。

WEBサイト <https://gi-nagoya.net/>

事業に関する情報や参加企業の
情報等を掲載しています。



Facebook

事業に関する情報やカーボンニュートラルに関する
施策情報等を発信しています。



編集 | 株式会社国際デザインセンター 事業部

デザイン | 株式会社ススキモダン

グリーン・イノベーション ナゴヤ 事務局・企画・運営

株式会社国際デザインセンター 事業部

所在地 | 〒460-0008

名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク・デザインセンタービル

TEL | 052-265-2104

FAX | 052-265-2107

WEB | <https://www.idcn.jp>



名古屋市

発行日：令和7年2月 / 発行元：名古屋市